

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）リュウコクダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ウエヤマ
龍谷大学	経済学部	上山ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ）チームフンソウ	フリガナ）マツオカ タクヤ	7
チーム紛争	松岡 拓哉	

研究テーマ（発表タイトル）

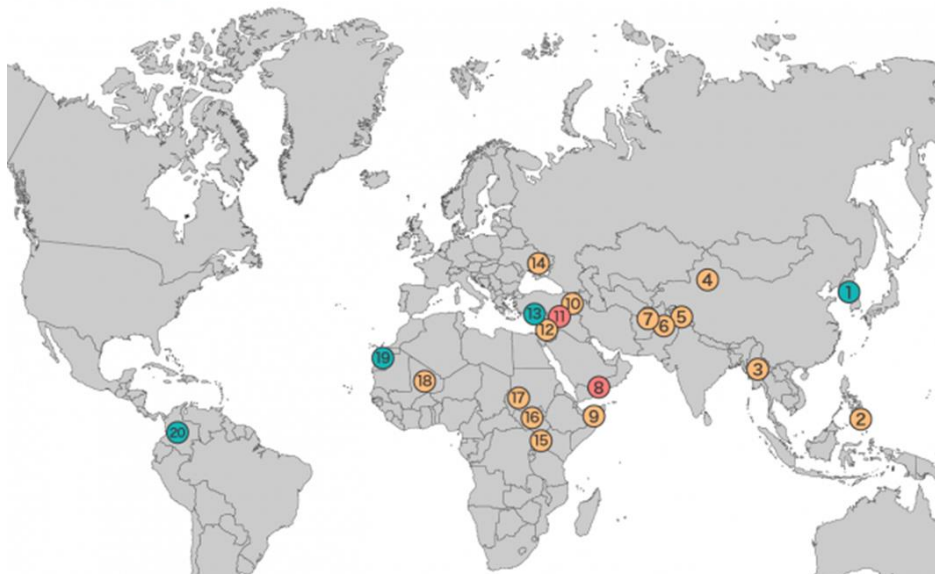
世界中に存在する「紛争」

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在も世界では多くの紛争が起こっている。まず「紛争」とは、非常に広い範囲の「揉め事」を表す。紛争という大きなくりの中に、国家間の対立を表す「戦争」と国内の対立を表す「内戦」という言葉が存在する。本研究では、それらを含めた「紛争」について大学生に意識度調査のアンケートを取り、現状を把握し、このプレゼンを通して大学生がさらなる紛争への理解を深めることを目的とする。また各地で起こっている紛争の原因に共通するものなどを探し、大学生に理解してもらうためのきっかけを探していく。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

- 世界紛争マップ（2017年） -



現在、世界中では沢山の様々な紛争が存在しているが、今回は主だった紛争を 20 個に分類していた web サイトを引用して分析を行っていきたいと考える。

まず、赤色のマークは今もなお日常的に交戦が起こっている地域を指し、黄色のマークは断続的に交戦が起こっている地域を指す。そして、最後に青色のマークは停戦中の地域を指す。

3. 研究テーマの課題

世界中には様々な紛争が起こっており、大学生に向けて紛争の理解度などに関するアンケートを取った。その結果、シリアやイランなどの紛争は日本においてニュースなどでよく取り上げられており、大学生でも大半が知っていた。しかし、シリアやイラン以外の紛争はあまり大学生には知られていなかった。そのため、このプレゼンを通して世の中でもあまり知られていない紛争を発信し、世界中には様々な紛争が存在している現状を伝えていきたいと考える。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

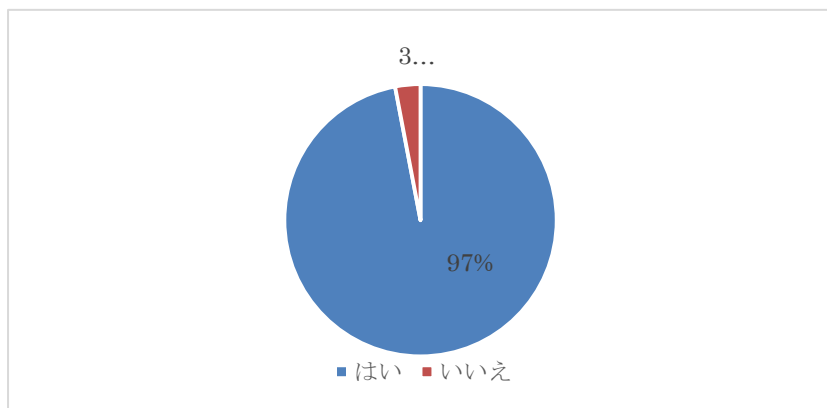
上記の解決策としてまず挙げられるものとしては、「世界中には日本人があまり知らない紛争が存在することを知ること」と考えた。そのため、アンケート結果においてあげられなかった紛争を調べ、プレゼンにわかりやすくまとめて発信していこうと思う。また、その過程でそれぞれの紛争の原因の共通点を大別することで、地域や民族などが違う紛争でもよりわかりやすく伝えようと考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

主に龍谷大学生に対して、紛争が存在していることを認知しているのか、紛争が起こる原因とは何か、紛争が起こっているイメージとして思い浮かぶ地域や国名などの質問をしたアンケートを取る。その後、集計結果をまとめ、大学生が紛争に対する理解をさらに深めるためには何が出来るのかを考えていく。

6. 結果や今後の取り組み

アンケート結果
Q1 世界各地で現在も紛争が起こっていることは知っていますか？

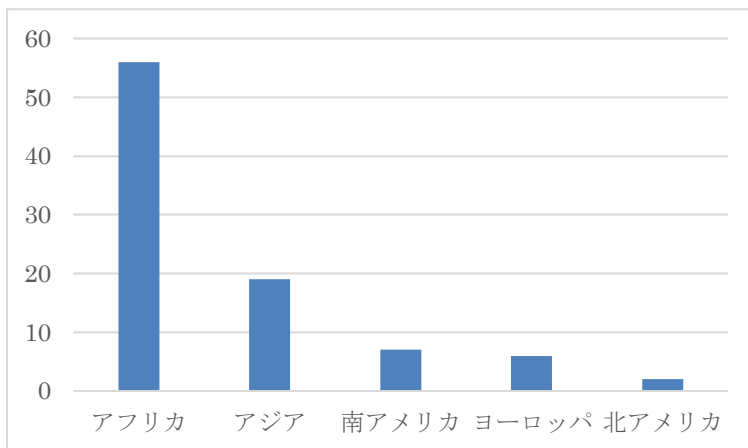


Q2 紛争が起こる原因は何だと思いますか？

1 位	宗教
2 位	民族間の対立
3 位	政治

4 位	土地、領土問題
5 位	貧富、所得格差
6 位	資源

Q3 紛争が起こっている地域で思い浮かぶ所はどこですか？



Q4 紛争と聞いて思い浮かぶ国はどこですか？

1 位	シリア
2 位	イラク
3 位	イラン
4 位	アフガニスタン
5 位	イスラエル

7. 参考文献

・紛争の定義、世界紛争マップ (2018.11.9)

<https://sekaika.org/current-war1/>

・カシミール紛争

「南アジアを知る」(2018.11.9)

<http://www.gijodai.ac.jp/csas/knowledge/index.html>

・ミャンマー少数民族紛争「第4章ミャンマー少数民族紛争」(トム・クレーマー)

アフガニスタン紛争

「アフガニスタン紛争」(2018.11.9)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%95%E3%82%AC%E3%83%8B%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%83%B3%E7%B4%9B%E4%BA%89>

・トルコ・クルド紛争

「トルコのクルド問題」(2018.11.9)

<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/PDF/katsuyo-manyual-2/siryo/G/1/4.pdf>

「トルコ・クルド紛争」(2018.11.9)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%88%E3%83%AB%E3%82%B3%E3%83%BB%E3%82%AF%E3%83%AB%E3%83%89%E7%B4%9B%E4%BA%89>

・フィリピン紛争

「フィリピン紛争」(2018.11.9)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A3%E3%83%AA%E3%83%94%E3%83%B3%E7%B4%9B%E4%BA%89>

コロンビア内戦

「紛争を乗り越え、真の平和を取り戻す コロンビア」JICA (2018.10.15)

https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1706/201706_05.html

・マリ北部紛争

「マリ北部紛争(2012年)」(2018.11.9) _

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9E%E3%83%AA%E5%8C%97%E9%83%A8%E7%B4%9B%E4%BA%89_\(2012%E5%B9%B4\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9E%E3%83%AA%E5%8C%97%E9%83%A8%E7%B4%9B%E4%BA%89_(2012%E5%B9%B4))

毎日新聞大阪社会事業団「2013年ブルキナファソ報告」

https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyo/main_enterprise/world_child/2013/sp_3.html

「コロンビア内戦の和平合意が成立、半世紀にわたる戦いに終止符「歴史的な支援に感謝」」(2018.10.15)

https://www.huffingtonpost.jp/2016/12/01/colombia-became-peace_n_13360192.html

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物 (例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート)

【企画シート作成上の注意】※「第9回 西日本インカレ(合同研究会) 大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。